

市民公開講座

「これ、テレビで見たことある!!」開催

庄原赤十字病院 0824-723111

「身近で受けられる胃腸・胆のう・肝臓の最新治療」をテーマに、市民公開講座（庄原市、庄原市医師会、庄原赤十字病院共催）を11月9日、庄原グランドホテルで開催しました。

250人以上の参加者があり、第1部・庄原でこんな治療が受けられます、第2部・広島市民病院副院長の高倉範尚先生の特別講演「肝臓癌の外科治療」、第3部・質疑応答と、最後まで熱心に聴いていただきました。

昨今は、医療技術の伝達速度が極めて早く、かつ多くの病院が大学病院などと人事交流を行っています。そのため、テレビなどで取りあげられた最新医療技術もすでに各地の病院では実際に行われています。

庄原市は人口4万人余りの小都市ですが、広島市などにわざわざ行かなくても、地元で多くの最新

医療が受けられることを知っていただけだと思います。今後庄原市全域の医療現場を対象に、この企画「これ、テレビで見たことがある!!」を続けていきます。



スクリーンを使用して、分かりやすく説明する医師

市民公開講座 質疑応答

質問 1 平成元年に胆肝癌の手術をして、輸血をしました。約3年後に、C型肝炎の陽性反応がでましたが、これとって特別な治療はしていません。治療をすればしたら、どのような過程を踏んだらよいでしょうか。

回答 1 C型肝炎が陽性になられて、10数年経過されているので、慢性化している可能性があると思います。まず医療機関に行って、肝機能検査をして肝炎の進行度や程度を調べてください。また、肝生検と言いまして肝臓の組織をとって精査する検査がありますので相談してください。合併症や、基礎疾患が無ければインターフェロンとか、そういった治療も考えられたほうが良いかと思えます。

質問 2 癌の発見と、血液検査の関係および発見の確率について教えてください。

回答 2 癌といっても色々な癌があります。同じ癌の中にも早期のものや進行しているものもあります。血液検査（腫瘍マーカー）で判りやすい癌もあれば、判りにくい癌もあります。血液検査で判りやすい癌で、代表的なのが前立腺癌だと思います。前立腺癌は、非常に早期の段階から血液検査で判りますので、ぜひ50歳以上の男性は、年に1回、受けてみてはどうかと思います。それ以外の血液検査は、どうしても腫瘍がある程度進行していないと判らないものが多いので、腫瘍マーカーが正常だからといって、大丈夫だとは言えません。腫瘍マーカーは癌の早期発見よりは、治療効果の判定などに多用されています。